

2026
2
#128

議会だより

あさひまち

- P 2～4 特集（議員と語ろう！）
P 5 議会改革のあゆみ
P 6～7 審議結果、常任委員会レポート
P 8～14 代表質問、一般質問
P15 議会の話題
P16 議員の部屋



撮影場所：朝日小川ダム

特集 議員と語ろう！

～「人口減少社会への対応」～

この会のねらい

人口減少の現状を共有する

「いま町で何が起きているのか」を一緒に確認する

暮らしの中での不安や困りごとを“見える化”する

少人数でのグループで語り合い、
暮らしの実感に根差したアイデアを集める

出てきた声を議会で取り上げ、質問や政策提案につなげる

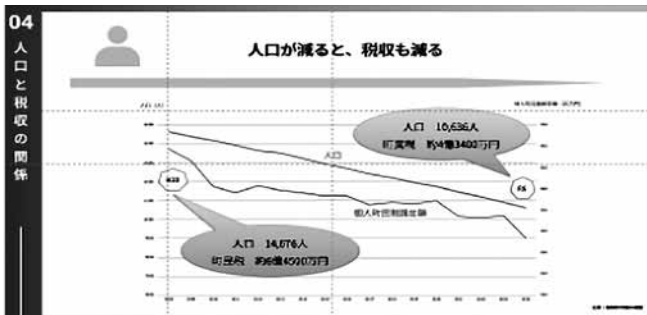
やって終わりにしない！

開かれた議会を目指し毎年開催している「議会報告会」、今回は名称を「議員と語ろう！」に改め、住民の声を直接伺い、ともに考える会としました。

さる11月8日（土）に役場4階大ホールで開催し、当日は町民16名の皆さまにご参加いただきました。



まず、現状を共有しました



皆さんの声を受け、12月議会にて議論！

役員のなり手がいない！

町内会等の役員不足が深刻化し「地域じまい」も懸念される。町内会長・自治振興会長が全て男性の現状を改めるため、女性が参画しやすい環境づくりを提案できないか。

自助・共助を基盤に住民と支援策を検討し、男女共同参画計画で女性登用を推進、総合計画でも地域コミュニティの在り方を検討する。

簡易水道組合、維持できる？

上水道はインフラ中のインフラ。各組合が料金見直しや修繕・更新費の積立など、将来に備えた行動を取れるよう、町はどう指導するのか。

設備の更新等は簡易水道施設補助金や生活環境施設等整備貸付金の活用を促す。

各組合では、値上げ検討と積立を行っていただきたく、引き続き情報提供や助言を行う。

グループワーク

『人口が減っても、安心して暮らせる町をめざして』



▷水道・用水・電気柵などインフラの維持管理

▶将来を見越して積み立てる

▷近所づきあいが少なくなり、心のつながりがうすい

▶つながりを大事にする行事の実施



▷空き家が増え防犯が心配

▶民泊に活用、都会へ発信

▷子どもが進学すると戻らない

▶町を離れた人に情報発信

▷災害時の避難介助ができない

▶地域に合ったマニュアルの作成

▷有害鳥獣対策

▶地区外の人にも協力してもらう

▶若い人に現状を伝える

**▷困りごと
▷解決策の
提案がありました。**

▷近所付き合いが減、会話の場が少ない

▶集いの場をつくる

▷世代間交流が少なくなっている

▶子ども食堂を交流の場・高齢者の活躍の場にする

▷一世帯当たりの賦課金が増える

▷共同作業の一人当たりの量が増える



▷地区役員のなり手不足、高齢化、存続が不安

▶地区合併

▶業務の標準化や簡素化を進める

▷教育問題、小中学校の統合？

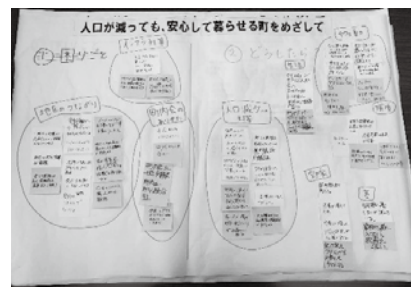
▷町内に小学生以下がおらず、イベントが盛り上がらない

▶少子化対策を第一に



町外からの力を地域づくりに！

町出身者等を地域づくりの担い手としてどう位置付け、情報発信と役割メニューの見える化で、町出身者等が関わりやすい仕組みをどうつくるのか。



町出身者等への情報発信は、関係人口の創出・拡大に向けた基盤であり、目的とターゲットを定めて媒体と内容を選ぶ。

役割メニューの見える化は、先進事例や国のふるさと住民登録制度の動きを踏まえ、町に合った担い手制度を創出し、地域の課題解決につなげていきたい。



「議員と語ろう！」参加者インタビュー

参加されたお二方にお話を伺いました

Q：議会の挑戦として初の試み、いかがでしたか？

A：住民が集まり、今の思いを聞いてもらえる場としては、良いスタートだと思います。次は、若い世代の参加も増えると、より柔軟な発想の意見が出るのではないのでしょうか。

Q：人口減少社会について、考えたことはありましたか？

A：正直なところ、「増やす」ことに意識が向いていて、人口が減った先の社会がどうなるか、具体的なイメージはできていませんでした。

Q：町民でできることって、何かありますか？
行政だけでなく。

A：町内会の役員の話も出ましたが、役職に就いていない人がどう関わっていくかが鍵だと思います。世代を超えてどうコミュニケーションをとっていくか。年配の方と子どもたちが交流できる場として、祭りなどの行事は大きいですね。行事を続けて世代を超えたつながりを保つことが大切だと思います。成果はすぐには出ませんが、種をまき続けることが大切だと思います。

これからを担う世代にも
参加してもらいたいね



ささしま 笹島 尚宏さん（草野）

町の公式LINEを見て
参加しました



たけうち 竹内 聖子さん（笹川）

Q：自分の意見は全部言えましたか？

A：席に立場のある方がいて、場の空気が変わるように感じ、発言をためらいました。でも、議員が同席して話を聞く形は良かったと思います。

Q：次回も参加したいですか？期待することは？

A：今回は建設の検討が進む風力発電のことを知って欲しくて参加しました。賛否が分かれるテーマほど、公の場で共有し、まずは知ってもらいたくて。そういう中で、次回は若い世代や移住者が「なぜ、朝日町を選んだのか」を、少人数で出向いて聞く形も良いと思います。
年配の方もいて進め方に戸惑いがありました。回数を重ねて活発になっていくかどうか、考えどころかもしれないですね。若い世代と、生活に密着した課題に詳しい年配世代が入り交じって話ができたら、面白いと思います。

編集 後記

今回、グループワークとしたことで、より多くの意見をいただくことができました。参加された方々から好評をいただいた一方、「これからの朝日町のことを考えるなら、これからを担う若い世代にももっと参加してもらいたい」といったご意見もいただきました。今後は、今回のように町民に集まってもらうやり方の他にも、町民の集まる場に議員が出向いて「議員と語ろう！」を開催することも含め検討してみたいと思います。

インタビューー 吉江 昌宏 議員 善田 奈緒 議員

議会改革のあゆみ

議会改革検討委員会の設置（平成28年10月）

朝日町議会では、地方分権時代を迎え今後の朝日町議会運営のあり方が問われる中、町民に開かれた議会を目指し、議会改革検討委員会を設置しました。

議会本会議のインターネット中継を開始（平成29年6月）

ケーブルテレビでの中継に続き、パソコンでも議会本会議が視聴できるようインターネットでの生中継と終日用の録画中継も配信を開始しました。

議会報告会・意見交換会の開催（令和2年11月）

議会で行われた議案等の審議や審査の内容を報告するための報告会や、議会への町民参画の促進と町民の意見を町政に反映させる機会を設けるための意見交換会またはグループワークを令和2年より毎年開催しています。

タブレット端末を導入（令和3年8月）

議会運営の効率化や文書管理のペーパーレス化を推進するために、令和3年からタブレット端末を用いた議会を始めしています。本会議のほか、全員協議会、議員協議会、各種委員会で活用するほか、議員へのお知らせや案内、質問要旨の提出などにも活用しています。



一問一答方式等の導入（令和7年6月）

朝日町議会では、これまで代表・一般質問の方法を「一括質問一括答弁方式」で行ってきましたが、質疑の論点を明確にし、町民の皆さんにより分かりやすい議会となるよう「一問一答方式」と「分割質問分割答弁方式」の質問方法を新たに加えました。

朝日町議会業務継続計画（議会BCP）を策定（令和8年2月末の予定）

議会における業務継続計画（Business Continuity Plan）では、災害などの非常時における議会の基本的な機能と役割を維持し、町民の安全確保と災害復旧等に向けた対応のために、必要な組織体制や議員の行動指針などを定めることとしています。

12月議会審議結果

※議決日：12月18日

全賛：全員賛成で可決・認定・採択

議案番号	件 名	審議結果	
議案第56号	令和7年度朝日町一般会計補正予算（第7号） 歳入歳出予算 総額100億126万5千円に	全賛	原案可決
議案第57号	令和7年度朝日町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	全賛	原案可決
議案第58号	令和7年度朝日町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	全賛	原案可決
議案第59号	令和7年度朝日町簡易水道特別会計補正予算（第2号）	全賛	原案可決
議案第60号	令和7年度朝日町下水道事業会計補正予算（第1号）	全賛	原案可決
議案第61号	令和7年度朝日町病院事業会計補正予算（第3号） 県の補助事業（補助率100%）を受け、 業務効率化のためのIC機器購入	全賛	原案可決
☆議案第62号	朝日町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定の件	全賛	原案可決
議案第63号	朝日町議会議員及び朝日町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例一部改正の件	全賛	原案可決
議案第64号	朝日町の職員の給与に関する条例等一部改正の件	全賛	原案可決
議案第65号	朝日町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等一部改正の件	全賛	原案可決
議案第66号	朝日町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例一部改正の件	全賛	原案可決
議案第67号	朝日町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例一部改正の件	全賛	原案可決
議案第68号	朝日町消防団条例一部改正の件	全賛	原案可決
☆議案第69号	町道路線の認定の件 消防団員の定年延長！	全賛	原案可決
議案第70号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第10号 令和7年度朝日町一般会計補正予算（第6号）	全賛	承認
追加議案			
議案第71号	令和7年度朝日町一般会計補正予算（第8号） 物価高対応：子育て応援手当支給！ 児童一人当たり2万円。2月～支給開始予定	全賛	原案可決
議案第72号	朝日町固定資産評価審査委員会の委員を選任するため同意を求める件	全賛	同意
10月臨時議会審議結果			
議案第55号	庁舎受水槽及び高架水槽更新工事請負契約締結に関する件	全賛	原案可決

☆P7常任委員会レポートで詳しく紹介

「審議」は、こう進む！

本会議（町から提案）

- 常任委員会へ付託（詳しく審査・質疑／討論）
- 委員会判断（可決・否決など）
- 本会議（全議員で最終決定）

常任委員会では、議案以外にも、暮らしに密接したきめ細かな議論が行われています。ぜひ傍聴へ！

常任委員会レポート Q & A

各委員会での議論を3点に絞って紹介します！

総務産業常任委員会

開催日：令和7年12月15日

審査結果：7案件、全て可決

委員：寺西・吉江・水野・西岡・大井

議案
69

泊高校跡地へのアクセス道路、 建設スケジュールは？

建設課

本年度は設計、来年度は用地測量。建設はその後となる。

耐雪型電気柵の自動監視システム、 実用性は？

農林
水産課

泊1区で実証中。費用約50万円＋通信費。好評である。

町防災情報を受け取る手段、 連動している？登録状況は？

みんなで
未来！課

防災無線・防災情報アプリ・HPは連動し、公式LINEとは連動しない。登録はLINE約4,700人台、防災情報アプリ908人。

クマ出没・津波など緊急情報は
防災情報アプリが確実。
今すぐ登録！



apple



Android

町への意見・要望

第6次総合計画・第3期総合戦略の開始を踏まえ、厳しい財政下でスクラップ＆ビルドを徹底し、事業の選択と集中と財源確保を進め、限られた財源で政策効果を最大限高める工夫を求める。

担当課：

農林水産課・建設課・税務課・商工観光課・会計課・
総務政策課・みんなで未来！課・財政管理課・朝日消防署

民生教育常任委員会

開催日：令和7年12月16日

審査結果：9案件、全て可決・承認

委員：由井・善田・加藤・清水・石原

議案
62

こども誰でも通園制度、 町はどう取り組む？

住民
子ども課

3保育園にて、定員空き枠で実施予定。子育て支援センターでの一時預かりとは別事業として扱う。

空き家バンク、情報公開の セキュリティは？

住民
子ども課

町内名のみで番地・所有者は非公表。写真・見取り図は所有者希望で任意。防犯面を含め総合的に考えていく。

国は病床数削減方針、 あさひ総合病院はどうする？

あさひ
総合病院

利用率85%前後で満床の日も。当面は減床せず、回復期機能へ一部移行して利用率向上を図り、109床で運営を続ける方針。

町への意見・要望

あさひ総合病院は物価高騰で経費が増大し課題があるが、地域の基幹病院として命と健康を守るため、収益の多角化、新川医療圏での地域連携強化、人材育成の三本柱で戦略的に取り組むことを求める。

担当課：

住民子ども課・健康課・保健センター・教育委員会事務局・
あさひ総合病院・在宅介護支援センター

代表質問



各議員の質問録画映像は二次元コードからアクセス！

質問

隣接する3町内会の地元説明会について伺う。

みんなで
未来！
課長

中草野町内会の意見は、パネル等が立つことで見通しが悪くなる。敷地内を通る水路が詰まって困っている等の意見を頂いた。

東草野町内会はパネル設置後の除草やセキュリティ、賃借料を踏まえた地元への還元方法、事業者が倒産した場合の運営や設備撤去方法等意見を頂いたが2町内では反対者はおらず、賛成するという意見も頂いた。

清水町町内会からは、概ね理解を示して頂いたが、反対する立場からは、国の動向や新たに規制された内容で再検討すべき等事業に対して懸念される内容の意見があった。



大井 光男
【一步会】

再質問

清水町町内会では住民アンケート用紙を配布された。その結果について伺う。

みんなで
未来！
課長

説明会前に151世帯中、回答は113世帯、反対は65世帯であり、大変厳しい結果と受け止めながらも、今回の地元説明会を開催する前のアンケートなので、町はこの結果については特段発言するつもりはない。

再質問

アンケート結果が151世帯中、回答は113世帯で、うち賛成24世帯、反対65世帯だった。この結果について町長の見解を伺う。

町長

アンケートの設問の中に総理大臣がメガソーラーに対して、反対の方針を打ち出したと前置きした上で、アンケートを行っておられる。

新たな森林開発等に対しての方針なので、アンケートの設問は不安要素をあおったアンケートであり、その中身が問題かと思う。

地元の皆さんの同意が当然必要だが、4月頃の1か月間、直接隣接する方が1軒のみ反対で、その後、担当課が回り、いろいろな注文があったが、概ね了解を得ている。本当に隣接する皆さん方がそのような意向なら、進めていこうということも大事な一つだと思う。

その他の質問

☆再生可能エネルギーについて

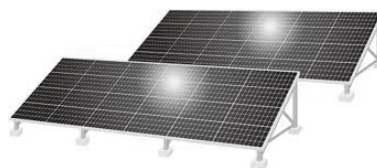
- ・あさひ風力発電事業の進捗と課題について

☆鳥獣被害対策について

- ・有害鳥獣等の捕獲数と被害について
- ・有害鳥獣等の個体数の調査について
- ・有害鳥獣等の捕獲・駆除に対する財政支援について

☆「夜ノッカル」社会実証運行について

- ・夜間交通について
- ・夜間移動用の「夜ノッカル」社会実証運行について



問…旧下澤産業跡地の太陽光パネル設置事業の地元説明会は
答…賛成の意見や反対の立場から事業を懸念される内容の意見
があった



質 問

あさひ総合病院の経営改善に向けた取組について伺う。

町長

病院の役割や進むべき方向性などを協議する経営改善検討委員会を11月9日に開催した。委員会では、1つ目として、ここ数年約85%前後で推移している病床利用率を90%以上にすることが必要であること、2つ目として、患者確保が必要であり、新川医療圏内の黒部市民病院との連携を今まで以上に強化することが重要であること、3つ目として、機能分化のため当病院の病床機能をより明確化し、急性期病院の後方支援の役割を担うこと、などの提言をいただいた。

病院ではこれを受け、新川医療圏内の公的病院である黒部市民病院と富山労災病院の院長らと意見交換を行う予定としており、医療圏内の公的病院と今まで以上に連携強化を図り、各病院の役割をより明確にしながら、患者確保に繋げることとしている。



由井 崇
【青雲】

質 問

独居老人の増加が予想される中、これを見据えた医療サービスをどうするのか。

あさひ
総合病院
事務部長

独り暮らしの高齢者や高齢者のみ世帯の増加に伴い、85歳以上の救急搬送や在宅医療需要は増加が見込まれている。

限られた医療資源を有効かつ効率的に活用するには、1病院のみで医療が完結できる時代ではなく、医療圏全体で連携を強化し、各病院の機能に合った医療を展開していく、いわゆる病院完結型医療から地域完結型医療への転換をより推進していく必要があるものと考えている。

当病院では新川医療圏内の各公的病院と意見交換を予定しており、国の地域医療構想を踏まえ、人口動態や医療需要に見合った医療提供体制の構築に向け協議を進めたいと考えている。

問.. あさひ総合病院の経営改善に向けた取組は
答.. 新川医療圏内の公的病院と連携強化を図り、各病院の
役割を明確にし、患者確保に繋げる

その他の質問

☆あさひ総合病院について

- ・今後の課題について

☆空き家について

- ・空き家の発生抑制について
- ・空き家の流通について
- ・空き家の活用について
- ・空き家の除却後の跡地利用について

☆地籍調査について

- ・地籍調査の必要性について
- ・経費負担について

☆成年後見について

- ・町の成年後見業務に関する取組について



代表質問

質問

企業誘致だけに限定せず、多角的な視点から検討を進めることも必要。レジャー施設、商業施設などの整備も選択肢になり得るのではないか。



吉江 昌宏
【グループ22】

総務政策
課長

平成30年に泊高校跡地利活用検討委員会を設置した。委員会からは、教育施設、複合型施設、企業誘致の3点が例示された報告書が提出され、町は県が主体となる跡地利活用策を要望した。県はサウンディング型市場調査や公募型プロポーザルを実施したが、応募申込みがなく、県が土地の所有を維持したまま、企業誘致用地として整備し、県と町が協力し企業を誘致する方策に決定し、現在、企業誘致用地として必要な整備、企業誘致が進められている。

提案の娯楽施設やアミューズメント施設の導入についても、企業誘致の一つとして捉えることもできる。

町としては、県が主体となり企業誘致を主眼に進めたいと考えているが、議員提案の意見も含め、県と連携、協議しながら、早期の整備完了と企業誘致に向け取り組み、町の活力向上につなげていきたいと考えている。

再質問

娯楽施設等々は企業誘致の一形態として検討の余地ありという言葉を得た。ぜひとも県と検討してほしい。

電柱の一本もまだ立っていないが、企業誘致について県のほうでどれくらい進んでいるか。

総務政策
課長

企業誘致の県の担当部署が変わり、非常にスピード感を持って対応している。できるだけ早く現地在が工事に着手できるよう作業を進めている。

問.. 泊高校跡地利用について多角的な利活用を
答.. 娯楽施設やアミューズメント施設の導入も企業誘致の一つ

その他の質問

☆部活動地域展開について

- ・国に対する町の思いについて
- ・地域展開の将来像と負担の在り方について
- ・地域展開の課題整理と今後の方向性について

☆県道入善朝日線の拡幅計画について

- ・計画の全体像について
- ・現在の工事進捗状況について
- ・今後の計画と該当町民への情報提供について

☆泊高校跡地利用について

- ・跡地利用の住民説明について

☆資源の有効活用について

- ・朝日町の資源と関係人口創出について



現在の泊高校跡地



質問

来年5月予定の朝日町長選挙に出馬し、引き続き4期目も町の舵取り役として、活躍していただく決意と抱負をお聞かせ願う。



西岡良則
【未来】

町長

私は、町長に就任して以来「自ら考え、自ら行動し、自ら結果を出していく」という視点のもと、常に危機意識と明確な目的・目標・スピード感を持って、町政運営に取り組んできた。

これまでに町民が幅広く参加し議論する場である「朝日町再生会議」の設立や、県内でいち早く高校生世代までの医療費助成制度を拡充するなどの子育て支援、あさひ総合病院の病棟編成、京都看護大学との連携や看護師・医師確保対策、複数の企業誘致。県内に先駆けての耐雪型侵入防止柵設置などの有害鳥獣対策、(株)博報堂との連携によるDXの推進など諸対策の展開を図ってきた。

現在は、令和8年度からスタートする第6次朝日町総合計画を策定しているところであり、少子高齢化・人口減少社会への対応、泊駅の南北連絡通路と駅舎の整備、あさひ総合病院の経営改善をはじめとした課題・問題が山積していることから、再度、町民の皆様の審判を仰ぎ、第6次総合計画の実現に向け、確固たる信念と身を粉にし、先頭に立ち、引き続き、町政運営に邁進していきたいと決意を新たにしている。

質問

小川で実施したサケの採捕事業の今年度実績について伺う。

農林水産
課長

富山県の特別採捕許可を得て行われている2級河川小川での「サケ有効利用調査」は、今年で11年目を迎えた。

今年度は10月16日から11月15日までの31日間を調査期間とし、県内外から289名の参加者で調査が行われ、137尾の実績であった。

年々、全国的にもサケの遡上が激減しており、小川の釣獲実績についても、昨年の5分の1程度に留まる結果となった。

内水面漁協では、遡上が減り調査を止める市町村が多い中で、参加者から今後も開催してほしいとの声があることから、来年も開催する方向で検討しておられる。

問…朝日町長選挙出馬について伺う
答…引き続き、町政運営に邁進していきたい

その他の質問

☆町政運営について

- ・消防団員の定年延長について

☆町の漁業振興について

- ・がごめ昆布養殖の事業化について

☆町の活性化について

- ・地域おこし協力隊制度の活用について
- ・ウニノミクス株式会社の工場建設について



一般質問

問：わたしのライフプラン事業の説明会について

答：3年計画で町内全地区を巡回する予定

人口減少や少子高齢化が進む中で、この事業は大変有意義であり、今後なるべく早く各地区を回って意識啓発をしてほしい。



寺西 泉



健康課付
課長

朝日町では、誰もが安心して老後を過ごし、その人らしい人生の最期が迎えられるよう、わたしのライフプラン事業を本年度より実施している。

事業の概要としては、各地区に赴き、出前教室形式により、近年注目されている家じまいや墓じまい、土地、家屋の相続、相続登記と遺言書などの説明を行った後、弁護士による法定後見制度や遺言書についての専門的な講義を行った。さらに、エンディングノートを活用した演習も行った。

この事業は3年計画で町内全地区を巡回する予定としており、今年度は、朝日町自治振興会連絡協議会にて事業概要を説明し、申込みがあった泊2区、南保地区、山崎地区の3地区を対象に実施し、63名の方にご参加いただいた。

来年度も今年度同様、自治振興会連絡協議会を通じて申込みがあった地区を対象に実施する予定としているが、開催日については、弁護士のスケジュールや各地区の希望を考慮しながら調整したいと考えている。

問：あさひ舟川「春の四重奏」駐車場について

答：駐車場の事前予約システムを導入する予定

近年は10万人を超す来場者があり、駐車場対応に苦慮しているが、2026年の駐車場運用について伺う。



加藤好進



商工観光
課長

2026年においては、駐車場の事前予約システムを導入する予定としている。観光バス、観光タクシー、さらに一般のマイカーも含め、全ての来訪者に対し、インターネット上で事前に駐車場利用の日にち、時間帯を予約していただき、事前に利用料金の決済も済ませた上で、当日お越しいただくシステムとなる。当然、事前予約をせずに現地にお越しになる方も想定しており、そのような方への対応も併せて、受入れ体制の整備を予定している。

なお、利用料金については、観光バスは、3,000円から10,000円に、一般車両は今回から1,500円を想定しており、町民については無料となるシステム設計をしている。

年々運営の規模が拡大し、来年はさらに新たなシステムを導入するなど、混乱も予想されるが、連携する入善警察署、黒部国道維持出張所、NEXCO中日本との協議の中でも、さらなる対策が課題とされていることや、何より周辺住民の安全確保を最優先と考え、準備を進めていく。

問：太陽光発電設備設置後の町の関わりについて

答：問題が発生した際には、町が責任を持って対応する

旧下澤産業跡地の太陽光発電設備設置後に何か問題が発生した時、行政はどのように関与し、住民に寄り添うのかについて伺う。

みんなで
未来！
課長

下澤産業廃業後、跡地における土壌問題をはじめ、その管理について近隣住民の皆様から心配する声が多く寄せられたことを背景に町が平成27年12月に購入して町有地として管理している。

このような土地を取得した経緯からも本提案は土地の売却ではなく、貸し出すという方法の中で、出来る事業を検討したものであり事業の実施に当たっては、町が責任を持って対応したいと考えており、想定されるトラブルを未然に防止するための必要な対策を賃貸借契約書に明記することとしている。

町民の財産である町有地の有効活用を進めながら、その管理・運営に努め、そして何かしらの問題が発生した際には、町は責任を持って住民に寄り添いながら対応していきたいと考えている。



清水 真人



問：LoCoPiあさひまちポイント活用、次の一手は

答：加盟店主体で拡大、子ども提案も検討へ

LoCoPiあさひまちポイントを、財源や公平性も踏まえ、今後どう活用するのか。

みんなで
未来！
課長

新たなポイント消費施策「おみせで交換キャンペーン」は、加盟店11店で500ポイントを1口に各店の特典と交換でき、来店促進と売上増、町内経済の活性化を狙う。加盟店主体の取組を広げ、行政が一方的に提供するサービスという構図から脱却し、官民地域共創の持続可能なサービスに成長させたい。さらなるポイント使途拡大についても検討を進める。

今後は「使ってお得」だけでなく、町の魅力発信や子どもたち、町出身者等の愛着づくりにつながる活用へ広げては。

未来創造こども議会では、ポイント活用案や、町PR用LINEスタンプ作成の提案があった。そこで、子どもがデザインしたLINEスタンプをLoCoPiポイントで取得できる仕組みを導入できないか。提案を形にし、子どもの町への関心と愛着を高めるきっかけにしたい。検討の方向性は。

みんなで
未来！
課長

子どもの提案がすばらしいとの認識を庁内で共有し、実現していきたいという合意はある。さらに合意形成が必要なためしっかり調整し、ポイントでの取得も併せて検討する。



善田 奈緒



掲載以外の一般質問一覧

寺西 泉 議員

- ☆人口減少社会への対応について
 - ・町内会等における役員のなり手不足について
 - ・水道組合や下水道の管理について
 - ・共助による除雪への対応について
- ☆自治体における稼ぐ力の創出について
 - ・ふるさと納税額の増加対策について
 - ・町有地の有効活用について
 - ・町HPや町広報誌等への広告収入について

加藤 好進 議員

- ☆町政について
 - ・令和8年度予算編成について
 - ・地域おこし協力隊について
 - ・クマ対策について
- ☆観光振興について
 - ・山岳観光について
- ☆健康福祉について
 - ・RSウイルス母子免疫ワクチン接種について

清水 真人 議員

- ☆町有財産における旧下澤産業跡地の利活用について
 - ・近接町内会における説明会の状況について
- ☆「議員と語ろう！」の町民の声について
 - ・委任業務の棚卸について
 - ・耐雪型固定電気柵の維持管理について
 - ・簡易水道組合の維持管理指導について
- ☆健康課事業について
 - ・わたしのライフプラン事業について
 - ・要援護高齢者除雪助成事業について

善田 奈緒 議員

- ☆部活動の地域クラブ化について
 - ・朝日町型部活動コミュニティクラブ実行委員会の位置づけと体制について
 - ・移動課題と空白時間の居場所に関する現時点の認識と今後の連携の在り方について
- ☆町出身者等を「担い手」として位置づける関係づくりについて
 - ・人口減少が進む中での町出身者等との関わり方と情報発信の位置づけについて
 - ・「引っ張り込まれる理由」と役割メニューの見える化について

議会日誌 (10～12月)

10月

- 3日：新川地域推進協議会研修会
- 6日：朝日滑川間国道・バイパス建設促進期成同盟会
／黒部川治水同盟会中央要望
- 9日：議会運営委員会、臨時会、全員協議会
- 16日：議会だより編集委員会
- 30日：全員協議会・議員協議会

11月

- 2日：関西朝日会総会
- 4日：議会運営委員会
- 5日：町村議会議長協議会、臨時総会
- 6日：新川広域圏事務組合行政視察（～7日）
- 8日：議員と語ろう！
- 10日：下新川海岸整備事業促進議員連盟中央要望
- 11日：糸魚川市・朝日町議会議員連絡協議会

- 12日：町村議会議長全国大会、豪雪地帯町村議会議長全国大会
- 17日：新川広域圏関係市町議会議員研修会、体育大会
- 21日：全員協議会・議員協議会
- 25日：町村議会議員・事務局職員研修会
- 27日：議会運営委員会

12月

- 4日：定例会（開会）
- 5日：議会運営委員会
- 11日：定例会（代表質問）
- 12日：定例会（一般質問）
- 15日：総務産業常任委員会
- 16日：民生教育常任委員会
- 18日：定例会（採決）

議会の話題

糸魚川市・朝日町議会議員連絡協議会

11月11日、糸魚川市・朝日町議会議員連絡協議会が糸魚川市で開催されました。

協議会では、「糸魚川駅北大火とその復興の軌跡」の取組について、糸魚川市議会交流委員長、近藤新二氏より説明を受けました。

また、キャリアステージいといがわ代表理事、下越幸二氏より「多様な働き方について」という演題でご講演をいただいたほか、大火の後に再開発された糸魚川駅北の現地視察を行いました。



新川広域圏関係市町議会議員 研修会・体育大会

11月17日、新川広域圏関係市町議会議員研修会及び体育大会が行われました。

黒部市国際文化センターで開催された研修会では、魚津市、黒部市、入善町、朝日町の議員が集まり、富山県危機管理局長の中林昇氏を講師として「令和6年能登半島地震に係る災害対応検証及び今後の県の取組みについて」という演題でご講演いただきました。

また、体育大会が、おおしまパークゴルフ場で開催され、パークゴルフを通じ他の議会議員と親睦を深めました。個人成績では、大井光男議員が1位、団体成績では、朝日町議会が2位と健闘しました。



◆【私の好きな○○】◆

【私の好きな味変】 石原 孝之 議員

袋入りインスタントラーメンの味を変えて食べる、私の好きな一杯をご紹介します。
今回は「袋入りチャンポンメン」で作る、辛くしない酸辣湯麺風に仕上げる一品です。

【用意するもの】

- ・袋入りチャンポンメン 1袋
- ・トマトケチャップ お好みに応じた量（適当）
- ・玉ねぎ（薄切り） 半分
- ・卵 1個
- ・お酢 お好みに応じた量
- ・ラー油 お好みで



まずは普通に麺を茹でていきます。茹で上がる少し前に薄く切った玉ねぎを入れたらトマトケチャップをお好みに応じて（私は多めに）入れます。付属のスープを入れたらそこに溶き卵を流し入れ様子を見ながら火を止め器に移し、食べる直前（トマトケチャップにも酸味があるので）好みに応じてお酢を入れたら体が温まる一杯の完成です。

これはあくまで私の好みです。苦情は受け付けませんのであしからず。試すか試さないかはあなた次第です！

【私の好きなゴルフ】 清水 眞人 議員

あなたの好きなことはと問われ、即答できないことに愕然とする。齢80。かつての熱情は、あとはかも無く消え去っている。

その中で唯一継続しているのがゴルフである。27歳の時、当時の上司が、これからの社会で伍していくためには、ゴルフは絶対必要条件となる社会が必ず来ると諭され、上司の使い古したクラブをもらい、始めたのが始まりである。当時ゴルフは、収入に見合うスポーツではなかったが、苦しい家計をやり繰りしながら、将来のための投資と支えてくれた家内のおかげで、53年間続けている。昨今は、腰痛や体力の衰えと闘いながら奮闘している。スコアは、さて置き、晴れた日のコースの爽快感は別格であり、出来る限り続けたい。



編集後記

新しい年を迎えられ、いかがお過ごしでしょうか。

12月の定例会では、生活に身近な課題から将来を見据えた施策まで、朝日町の将来に直結する幅広い活発な議論が交わされました。

一つ一つの言葉の背景には、地域の声や課題があり、議場の真剣なやり取りがあります。

私たちはその思いを施策に反映させるべく日々努めています。

議会だよりは、その内容をできるだけ分かりやすく正確にお伝えすることを大切に編集しています。

本誌を通じて、町政や議会をより身近に感じていただければ幸いです。

今後も読みやすさと伝わりやすい誌面づくりを心がけ、皆様に関心に応えられるよう努めてまいります。
（石原）

◇議会だより編集委員

石原 孝之 善田 奈緒
水野 仁士 吉江 昌宏
大井 光男